



## 笑顔があふれた岩手・釜石の海岸

### シーバード 46 番目の拠点「シーバード釜石」開所式実施

◆日程：2018年7月28日（土） ◆会場：根浜海岸（ねばまかいがん）（岩手県釜石市）

●主催：シーバード釜石

※シーバード釜石の開所式は、「根浜海岸 海あそび」（主催（一社）根浜MIND、共催：釜石市）の開会式と併せて行われました。

2018年7月28日（土）、岩手県釜石市の根浜海岸でシーバード釜石の開所式が行われました。季節外れの台風12号の影響が心配されましたが、大きな荒れ模様にはならず、「根浜海岸 海あそび」に参加した地元小学生約50名の笑顔と歓声があふれました。

#### ●海岸再生を待つ市民の熱い思い

2011年3月11日の震災の影響で、根浜海岸の砂浜が流出し、海岸の面積は震災前には比較できないほど狭くなってしまいました。国の海岸の再生事業によって、今年こそ根浜の海開きをという期待もあり、それに合わせてシーバード釜石の開所式が計画されましたが、海水浴場として開放する状態にはないという判断で海開きに代わって企画実施されたのが「海あそび」です。

シーバード釜石の運営母体である釜石ライフセービングクラブもその事業に賛同し、開所式の併催、シーバードの水上オートバイでの体験プログラムを組み入れることが了承され7月28日を迎えました。

野田武則釜石市長は「震災から8年目、岩手県でも三大海水浴場といわれるこの根浜海岸の再生を願っています、日本財団のご支援のもとに全国で46番目にシーバード釜石が、8月のオープンウォータースイミング大会、9月のトライアスロン大会の安全を支え、また海洋国家・日本に財産である発展に貢献されることと思います」と挨拶されました。（代読；釜石市産業振興部 平松福寿 部長）

#### ●地元小学生約50名も参加

##### 海は大きな校庭、夏休みの思い出に

シーバード釜石の開所式に続いて、進水したばかりの水上オートバイでのおぼれた人を設定した救助デモンストレーション、子供たちの体験乗船を実施しました。

「水温は21度ほどですが、子供たちは元気元気！海での体験を身近に感じてもらえたら。そして海から見る自分たちの暮らす街を見つめて、何かを感じてもらえたらと思います」とシーバード釜石の副代表を務める佐々木良衡（ヨシヒ）さん。

会場には震災前の根浜海岸を紹介するテントが設けられ、ビーチパラソルで賑わう夏、トライアスロンの参加選手のゴールの模様等、賑わいの写真が並びました。「いつかね、こういうふうになりたい、したいのよ、涙が出ちゃうね、、、」と話す準備のおばさんの瞳には力強さが感じられました。

シーバード釜石の菊池健一代表は「安全安心、そして海の楽しさを伝えるためにシーバード釜石が役立てるように頑張ります」と締めくくりました。



公益財団法人  
日本財団



NPO 法人  
日本青バイ隊



一般社団法人  
ウォーターリスキーマネジメント協会



NPO 法人  
PW 安全協会

シーバードジャパン事務局 特定非営利活動法人パーソナルウォータークラフト安全協会 本部事務局内

〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1番1号 (株)カワサキモーターズジャパン内 Eメール info@sb-pwc.jp

公式サイト <http://www.sb-pwc.jp/>



約 1.5 kmの砂浜は津波で海岸線が約 300m 後退した  
とされる根浜海岸に子供たちの笑顔があふれた



シーバード釜石の主要メンバー。  
右端が菊池健一代表



開所式後に救助デモを披露



海産グルメ、東京の文教大学の応援ブース「海あそび」の  
出展ブースに加え、西日本災害募金も行われた



虎は千里行って千里帰るという伝えから地元で敬われたと  
いう伝えに基づき、鶴住居（うのすまい）町の伝統芸能  
「虎舞」も演じられた



開所式には、シーバード気仙沼からの祝い電報もあつ  
て、多方面からこれから期待が寄せられた

シーバード釜石開所式  
以上